

OUR CORPORATE PHILOSOPHY — 企業理念 —

関東マツダは、三方良しの経営を実践し人の幸せと社会の発展に貢献します

- 1. お客様満足(CS)私たちはクルマを愛するすべてのお客様に、マツダ車を通じて「走る歓び」を提供します。
- 2. 社員満足(ES)私たちは社員一人ひとりを尊重し、仕事を通じて豊かな人生を 送れる環境を整えます。
- 3. 社会的責任(CSR)私たちは地域社会との共存・共栄を目指し、社会貢献活動を推進します。

OUR VISION — ビジョン —

『みんなから愛され社員が誇れる会社』

OUR MISSION — 行動指針 —

信頼獲得 私たちはお客様の良き相談相手になります(お客様)

夢・希望・誇り 私たちは向上心を持ち何事においても正しく行動します(自分)

チームワーク 私たちは互いに感謝し称賛することを忘れません(仲間)

社会貢献 私たちは地域と絆を深め環境に優しい活動をします(社会)

環境活動の取り組み

- ・板金工場における塗装工程で使用する塗装を、スチレンレスのパテに変更した。
- ・板金工場における塗装工程で使用する有機溶剤系洗い油(シンナー)削減 に向け、廃シンナー再生機の導入を検討する。
- ・板金工場における塗装工程で使用する塗料の水性塗料への変換については、化学物質(有機溶剤)、使用量削減において非常に有効な



取り組みと考えるが、対応には設備機器の大幅な変更が必要なことから、将来的な検討課題とする。

・エコキャップ運動の取り組み

2018年10月から本社・店舗にてエコキャップ運動に取り組んでおります。

回収されたエコキャップを再利用すること得られた利益は慈善団体を通じてポリオワクチンの購入費用に充て、世界中で使われております。(エコキャップは、430 個で 10 円になります。発展途上国に送られる冷凍ポリオワクチンは、1 人分 20 円(860 個)で購入でき、これで 1 人の子供の命を救うことができます。一方、これまで同様にゴミとして焼却処分されますと、キャップ 430 個で約 3,150 gの CO2 が発生します。このことからも、日々の小さな取組みの積み重ねが、大きな社会貢献に繋がることが想像できるかと思います。

エコキャップ取組実績

	重量(Kg)	個数	ワクチン(何人分)	削減した CO2(Kg)
2018 年度	91.0	39,130	45.5	286.7
2019 年度	436.0	187,480	218.0	1373.4
合計	527.0	226,610	263.5	1660.1



・使いきって(切手)運動

2018 年 10 月より本社・店舗に送られてくる郵便から使用済み切手を収集し、慈善団体を通じて 売却した利益を世界中の医療福祉事業の向上に貢献しています。封筒に貼ってある使用済み 切手(切手の額面は問いません)を海外の医療支援に役立てる取組みを実施してアジアやアフリカの 保健医療事情向上のために役立てます。

・使用済み切手活用例

約 5000 枚・・タンザニアで、約1 年分の看護学校の教科書代

約 18000 枚・・ウガンダで、半年分の助産師学校の実習費

約 76000 枚・・バングラディシュで、理学療法の技術を学ぶ研修費

使いきって(切手)運動実績

	枚数	重量(g)	П
	作X 安X	里里(8)	(およそ)
2018 年度	2,609	522	939
2019 年度	3,095	612	1,114
合計	5,704	1,134	2,053



地域貢献活動の取り組み

・本社ならびに板橋本店がある板橋区大山町会のお祭りにお神輿の休憩所を提供





・調布市の子育て応援サイトに「赤ちゃんお出かけ安心マップ」に赤ちゃんの授乳・おむつ交換が

できる場所として国領店を登録





コサイト様リンク

https://cosite.jp/town/shop/shopothers/kantomazda/chofu/36243

・板橋区 高島平ロードレースに先導車・ドライバーの提供、小学生ファンランの参加者へ参加賞の提供





・ハロウィンイベントで大山商店街と板橋本店にて地域の園児へお菓子プレゼント





・大山商店街にて地域の皆様とのジャンボのり巻き作りと お子様へ参加賞プレゼント





・交通安全運動の一環としてアニマルリフレクター(反射材)をお客様や近隣住民、保育園などに贈答



・災害対応型自販機の導入







・週一回、店舗・本社スタッフによる本社周辺のクリーンアップ活動





健康経営の取り組み

関東マツダ健康宣言

関東マツダに働く社員とその家族の健康の確保は、企業活動の基盤であり、経営の重要課題です。

「社員満足」の企業理念の下、社員一人ひとりを大切にし、職場環境を整備すると共にその増進に努め、お客様からも選ばれ続ける、社員が誇りを持てる会社を目指します。

代表取締役社長 島田 寛昭

健康経営管理指針

目的 働きやすく、全社員が輝き続けられる職場環境を形成する。

体制 代表取締役社長が中心となり、安全衛生委員会、産業医、労働組合や健康保険組合など外部機関とも 連携をとりながら健康経営を推進する。推進活動の進捗状況は定期的に経営者会議や部門長会議等 で報告・共有する。

取組内容

社員が自律的に健康保持・増進に取り組めるよう、積極的に支援する。

- 1. 健康診断・ストレスチェックの 100%実施。
- 2. 安全衛生推進者(店長・マネージャー)や健康推進担当者への研修を強化し、健康に対する意識・知識を 高める。
- 3. 職場のコミュニケーションを活性化し、職場環境の改善、メンタル不調者の早期発見・予防に努める。
- 4. 規程・体制を整備し、より働きやすい職場を目指す。



経済産業省が制度設計を行い、日本健康会議が認定 している『健康経営優良法人 2020』の認定を取得



健康経営推進体制相関図

健康経営課題

メンタルヘルス不調等ストレス関連疾患を抱えた社員の早期発見・対応

改善目標

- 1. 健康推進担当者・管理職向けにセミナーを行い、メンタルヘルスに対する見識を深める。
- 2. ストレスチェックを活用し、不調者の早期発見を図る。

ストレスチェック受診率 100 パーセントを目指す。

改善施策

- 1. 半年に1度、健康推進担当者や管理職向けに産業医等の専門機関から研修を受ける機会を設け 不調者への対応の仕方や不調者の傾向など予防に関する知識を深める。
- 2. ストレスチェックを「心の健康診断」として捉え、定期健康診断同様、毎年受けるものとしてその重要性を 理解してもらう。また、PC を持たない社員も受診しやすい環境を整える。

定期健康診断実施状況

	2017年	2018年	2019年
対象人数	2,145	1,927	2,133
受診率	99.5%	99.6%	98%





健康企業宣言

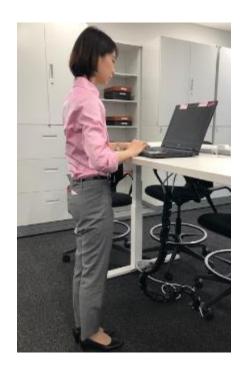
健康経営優良法人認定書

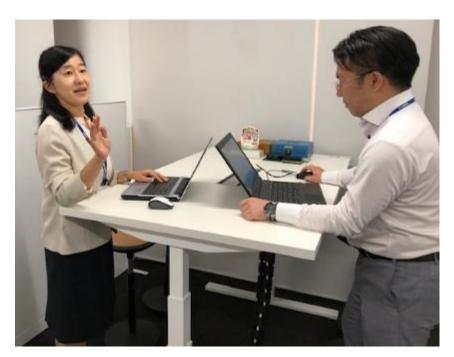
・子宮頸がん(写真上段)、血管年齢(写真下段)に特化した健康セミナー開催





・本社オフィスに昇降式デスク、ハイスツール





・社内・店舗に設置している自販機の飲料のカロリーを表示



8F	自販機カロリー表 (アサヒ)		
	品名	カテゴリー	カロリー表記 (100mlあたり)
上段	ドデカミン ストロング	炭酸飲料	26kcal
	ロイヤルミルクティー	紅茶	42kcal
	なだ万 日本茶	緑茶	Okcal
	なだ万 ほうじ茶	緑茶	Okcal
	モンスターエナジー	炭酸飲料	50kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	Okcal
中段	おーいお茶	緑茶	Okcal
	十六茶	プレンド茶	Okçal
	十六茶 麦茶	麦茶	Okcal
	カルビスウォーター	乳酸菌飲料	45kcal
	WILKINSON LEMON	炭酸水	Okcal
	WILKINSON TANSAN	炭酸水	Okcal
	おいしい水	ミネラルウォーター	Okcal
下段	WONDA X-BETTER BLACK	コーヒー	5kcal
	WONDA アイスマウンテン	コーヒー	22kcal
	WONDA 極 BLACK	コーヒー	0kcal
	WONDA 極 カフェオレ	コーヒー	28kcal
	世界一のバリスタ監修 微糖	コーヒー	24kcal
	WONDA 味わいミルクコーヒー	コーヒー	42kcal
	L-92 守る働く乳酸菌	乳酸菌飲料	60kcal

健康増進の為の取り組み

・コミュニケーション促進の為、社内ソフトボール大会の開催







社員がリフレッシュできるためのリフレッシュルーム

